

令和8年度 江戸川区立平井小学校 学校関係者評価報告書

学校教育目標	やりぬく平井の子 やりぬく心 やりぬく体		目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	・やった！できた！おもしろい！新しい発見がある学校 友達いっぱい、今日も行きたい学校 地域を大切にし地域に愛される学校 ・よく聞き、深く考え、表現できる子 違いを認め合い、思いやりあふれる子 心も身体も元気な子 ・指導力、専門性のある教師 共通の行動目標で進む教師 組織人として校務を遂行する教師	
前年度までの本校の現状	成果	子どもたちが自ら課題を見出し、解決の課程で仲間と共に試行錯誤しながら自己の学習を調整する態度の育成を図っている。全教科・領域で粘り強く取り組む学びの実現を目指している。	課題	自他のよさを認め、協働して学びに向かう学習集団を目指してきたことによって、学び合う姿勢が身に付いてきた。児童一人一人が、算数科における知識・技能を確実に身に付け、定着させることができるよう、授業改善や個に応じた支援を充実させていく。	

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	「中間」自己（学校）評価		「中間」学校関係者評価		「年間評価」自己（学校）評価		「年間」学校関係者評価		次年度に向けた改善案
				評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	基礎・基本の定着	・学力向上アクションプランの活用 ・放課後学習教室、とことんタイム実施 ・Study weekの実施 ・よむYOMUワークシートの活用	・東京ベージックドリル診断テスト、正答率50％以下を2割。D層を5％以下。 ・全国・区学力調査、都の平均以上。 ・保護者学校評価アンケート①、肯定的回答90％以上。	B	・計算力を身に付けるためにマス計算を継続的に取り入れていきたいが、時間の確保が難しい。 ・低学年は水曜日以外の5時間授業の日に、とことんタイムを実施していく。	B	学習を苦手とする児童に対して、個別に教えていただけることに感謝しています。今後も無理のない範囲で続けてください。					
	学習場面の設定 ・知識・技能を習得する指導の工夫	・校内研究全学年実施 ・算数学力向上PT	・学力向上に関する児童実態調査、肯定的回答85％以上。 ・保護者学校評価アンケート②、肯定的回答80％以上。	B	・2学期以降の校内研究では、講師の先生をお招きして、より一層算数科の教科特性について学んでいく。	B	先生方も日頃から研修を重ねていることが分かります。先生たちの学びが子どもたちに還元されていくと思います。					
	読書科の更なる充実 ・探究的な学習の充実	・読書科の授業公開 ・読める学習コンクール参加 ・読書科ノート活用 ・読み語りの実施 ・公共図書館との連携 ・読書科研修	・読書科に関する児童意識調査、肯定的回答80％以上。 ・保護者学校評価アンケート⑤⑥、肯定的回答80％以上。	B	・朝読書や季節に応じた企画読書を設定したことで、本を読むことが好きな児童が多い。 ・年度始めに読書科の研修を行った。	B	季節に応じて、読書活動を工夫していただきありがとうございます。本を読むことが増えているのは、とても喜ばしいです。					
	一人一台端末による指導の充実	・毎日1回以上活用 ・Study weekでの活用 ・ミライシードの活用	保護者学校評価アンケート③、肯定的回答80％以上。	B	・Study weekで個人に合った問題を解く際、有効的に活用することができた。 ・ICT支援員さんとの連携が取れているため、継続して行っていく。	B	iPadの使用で困っているご家庭が多いと思うので、iPadの制限を強化されるとよいです。					
体力向上	体力向上	・縄跳びチャレンジウィーク ・ゆうゆうタイム ・外遊びの奨励 ・補助運動の工夫	・体力テスト、全種目都の平均以上。 ・体力向上に関する児童意識調査、肯定的回答90％以上。 ・保護者学校評価アンケート④、肯定的回答90％以上。	B	・ゆうゆうタイムの研修を行ったため、全教員が同じ意識で取り組むことができ、児童の主体的な活動になった。今後も実技研修を行い、児童の体力向上に努める。	B	将来を見据えた豊かなスポーツライフ実現のために、授業を工夫してくださったり、体を動かす機会を増やしてくださったり、ありがとうございます。運動嫌いな子をつくらないでほしいです。					
共生社会の実現	思いやりの心	・道徳授業地区公開講座 ・グリーンプラン実施 ・校内のボランティア活動の推進 ・全学年平井ルミナルと交流活動 ・異学年班活動の充実	・共生社会に関する児童意識調査、肯定的回答80％以上。 ・道徳地区公開講座、出席率20％以上。 ・保護者学校評価アンケート⑨⑩、肯定的回答70％以上。	B	・今年度平井ルミナルとの交流を全学年で開始しています。夏休みにルミナルと研修を行いました。 ・ロング縦割り班活動を学期に1回行い、交流する時間を増やす。	B	平井ルミナルとの交流は、江戸川区が掲げる共生社会実現のためにも、児童にとって多くの学びになります。					
	特別支援教育の充実	・学習環境のユニバーサルデザイン化 ・エンカレッジルームの効果的な活用	・特別支援に関する児童意識調査、肯定的回答80％以上。 ・保護者学校評価アンケート⑩、肯定的回答70％以上。	B	・エンカレッジサポーターが決まり、エンカレッジルームでの学びの保障ができるようになってきた。	B	支援が必要な児童に合わせた対応を丁寧にしていただいています。心の病気も増えているので見守ってほしいです。					
	自己肯定感の醸成	・入事教育の推進 ・キャリアパスポートを通じたキャリア教育の充実 ・笑顔と学びのプロジェクト実施 ・インクルーシブ教育システムの理解と推進 ・LGBTへの理解	・生活に関する児童意識調査結果、肯定的回答80％以上。	B	・キャリアパスポートでは1学期、学期のめあてに取り組んだ。2学期以降は、運動会や学習発表会などの行事や体験活動を通して、達成感や、やりぬく力の向上を目指す。	B	行事を通して、児童が達成感を味わい、やり抜く力をはぐくんでいけるのはとてもよいことだと思います。					
生活習慣	生活習慣の確立	・挨拶の徹底 ・毎朝の登校指導 ・下校指導 ・「生活スタンダード」の継続指導 ・平井っ子家庭ルール週間の設定 ・フチャ物洗口	・生活に関する児童意識調査結果、肯定的回答80％以上。 ・平井っ子家庭ルールカード、回収率90％以上。 ・保護者学校評価アンケート⑧⑨、肯定的回答80％以上。	B	・挨拶やスタンダードの徹底のため、教員からの指導だけではなく、代表委員会が主体となり取組を考え、実践している。	B	iPadの使用方法を家庭ルールカードで取り組むことは、振り返りもしやすい。今後も保護者と連携して進めてほしいと思います。					
	防災教育の充実	・防災教育の実施 ・全学年セーフティ教室実施	・4年生への自助・共助に関する授業実施、社会科との教科横断的な取組。	A	・教科横断的に防災教育を実施。 ・毎月の避難訓練では、火事や地震だけではなく、様々な災害を想定した訓練を行っている。	B	災害はいつ、どのように起こるか分かりません。様々な状況に応じた訓練が必要です。地域も高齢化が進んでいるので、いざという時に若い力が必要になってきます。					

<div> <div> 指導・進路指導 </div> </div>	いじめのない学校	<div> <div> ・道徳教育の充実 ・SNSルールの指導 ・校内巡視による児童把握 ・L-Gate毎日実施 ・いじめアンケート </div> </div>	<div> <div> ・問題解決率100%。 ・保護者学校評価アンケート⑦、肯定的回答70%以上。 </div> </div>	B	<div> <div> ・いじめ対策委員会を開き、児童アンケートに書かれた案件を検討した。児童理解のため、L-Gateを積極的に活用している。 </div> </div>	B	児童アンケート他、多くの場面からいじめを早期に発見し、解決に努めてほしいです。L-Gateの活用も新しい取り組みとして心強いです。					
	体罰ゼロの学校	<div> <div> ・人権教育の推進 ・体罰に関するアンケート ・服務事故防止研修実施 ・防止ポスターの掲示 </div> </div>	<div> <div> ・自己評価、体罰ゼロ ・服務事故防止研修、受講率100%。 </div> </div>	A	<div> <div> ・服務事故防止研修では、事例をもとに、事故の未然防止への対策を強化させた。 </div> </div>	B	事例を通した取り組み、大変意義深いと思います。職員の安全意識が児童の安心につながります。					
	不登校を出さない学校	<div> <div> ・児童変容把握シートの作成 ・エンカレッジルームの活用 ・外部諸機関との連携 </div> </div>	<div> <div> ・不登校及び不登校傾向の児童、1%以下。 ・保護者学校評価アンケート⑦、肯定的回答70%以上。 </div> </div>	B	<div> <div> ・不登校防止シートを作成し、個々の児童の状況を把握した。変化を見逃さないように、個に応じた支援を行う。 </div> </div>	B	児童一人一人を丁寧に見ていただきありがとうございます。小さな変化に、早期対応をしていただけることは、保護者の安心になります。					
<div> <div> 地域に開かれた学校の実現 </div> </div>	教育活動の情報発信	<div> <div> ・学校公開 ・学校行事の実施 ・保護者会 ・個人面談 ・学校ホームページによる情報発信 </div> </div>	<div> <div> ・保護者学校評価アンケート⑪、肯定的回答90%以上。 </div> </div>	A	<div> <div> ・学校ホームページで月に1回以上、各学年の活動を発信している。今後も引き続き行う。 </div> </div>	B	毎月更新していただけるのは大変ありがたい。保護者や地域にとっても安心感につながる。					
	地域・保護者との連携	<div> <div> ・読み聞かせボランティアの活用 ・平井ルミナルとの交流 ・地域ボランティアの活用 ・地域人材を活用した授業 ・学校評価 </div> </div>	<div> <div> ・保護者学校評価アンケート、回収率70%以上。 </div> </div>	B	<div> <div> ・1学期は、読み聞かせボランティア各学年2回実施。今後キャリア教育でゲストティーチャーとして来ていただく機会を作りたい。 </div> </div>	B	ゲストティーチャーはすごくいいと思います。子供達には夢をもってほしいです。協力できることがあればしていきたいです。					
	地域への参画	<div> <div> ・PTA役員会・地域団体との情報交換会。 ・PTA行事への参画 </div> </div>	<div> <div> ・PTA・地域団体との情報交換、年間10回。 ・PTA平井小まつり、教職員の参加70%以上。 </div> </div>	B	<div> <div> ・100周年記念式典もあり、PTAの役員の方と例年以上に連携を図っている。今後もPTAと協力しながら活動をしていく。 </div> </div>	B	児童たちのためなら手伝っていききたいので、これからもよろしくお願いします。					
<div> <div> 特色ある教育活動 </div> </div>	サービスの厳正	<div> <div> ・情報共有 ・職場環境づくり ・学年会を通した進捗状況の確認 </div> </div>	<div> <div> ・服務事故ゼロ </div> </div>	A	<div> <div> ・毎学期服務事故防止研修を行い、服務事故0に向けて、日常の取り組みの意識を高めていく。 </div> </div>	B	研修を通して安全への意識を高めていただいていることに感謝します。					
	心身の健康と豊かな人間性	<div> <div> ・定時退勤日の設定 ・SSS SSの積極的活用 </div> </div>	<div> <div> ・時間外勤務45時間超の教職員15%未満。 </div> </div>	B	<div> <div> ・人材の活用によって働きやすい環境ができてきている。 ・業務の精選や、人材活用を図り、作業の効率化につなげる。 </div> </div>	B	先生方が働きやすい環境が、児童の教育にも良い影響を与えていると思います。					
	職層を活かしたOJT	<div> <div> ・日常的な支援と指導 </div> </div>	<div> <div> ・各教員の専門性を生かした研修会、年間10回以上実施。参加者80%以上。 </div> </div>	B	<div> <div> ・1学期5回行った。各教員の専門性を生かした研修が充実している。 </div> </div>	B	先生方が学び合い、専門性を生かして研修をされていることは心強いです。					